

住民意向調査速報版（葛尾村・浪江町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、葛尾村、浪江町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

葛尾村

調査主体 復興庁、福島県、葛尾村
調査対象 世帯の代表者（491世帯）
実施期間 令和3年9月6日～9月21日
回答者数 300世帯（回収率61.1%）

浪江町

調査主体 復興庁、福島県、浪江町
調査対象 世帯の代表者（7,395世帯）
実施期間 令和3年10月12日～10月26日
回答者数 3,669世帯（回収率49.6%）

2. 調査結果のポイント

別紙1～2のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）担当：栗原、高橋
電話：03-6328-0250（直通）

葛尾村調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、葛尾村の共同調査は7回目。

(1) 帰還の意向

既に葛尾村に戻っている	34.3% (28.4%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	14.0% (19.5%)
まだ判断がつかない	20.7% (18.2%)
戻らないと決めている	27.7% (31.8%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R1.10)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療機関 (診療科) の拡充	45.2% (47.2%)
介護・福祉施設の充実	29.0% (28.3%)
商業施設の充実	24.2% (17.0%)
公共交通機関の充実	22.6% (11.3%)
どの程度の住民が戻るかの状況	21.0% (20.8%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

避難先の方が、生活利便性が高いから	45.8% (40.9%)
医療環境に不安があるから	37.3% (50.5%)
すでに生活基盤ができているから	36.1% (46.2%)
葛尾村外への移動交通が不便だから	28.9% (29.0%)
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	25.3% (34.4%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

浪江町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、浪江町の共同調査は 9 回目。

(1) 帰還の意向

すでに浪江町に戻っている	9.6% (8.1%)
戻りたいと考えている	11.4% (10.8%)
まだ判断がつかない	24.9% (25.3%)
戻らないと決めている	52.4% (54.5%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R2.9)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療・介護の復旧時期の目途	55.1% (56.8%)
どの程度の住民が戻るかの状況	35.7% (37.9%)
商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途	34.7% (35.5%)
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	26.4% (26.6%)
原子力発電所に関する情報 (事故収束や廃炉の状況)	26.4% (28.0%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	49.8% (53.9%)
元の住家を解体しており、戻る家がないから	46.0%
避難先の方が、生活利便性が高いから	38.4% (40.1%)
医療環境に不安があるから	36.5% (42.3%)
原子力発電所の安全性に不安があるから	26.1% (28.7%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答